

レイリオンの23

全400口 | 1口出資額75,000円(税込) | 総額3,000万円(税込) セレクトセール2023購買馬

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



母は女傑リスグラシューの半姉、3歳春に描く高い理想を実現へ

現時点における馬体の特徴と適性

数多くの一流マイラーを輩出した名種牡馬ダイワメジャー産駒の母は、芝1200m戦、芝2000m戦で勝利し、6歳1月まで現役生活を続け、その春から繁殖生活に入りました。1歳下の半妹は、有馬記念、宝塚記念、エリザベス女王杯、豪州に遠征してのコックスプレートとG1を4つ制し、2019年年度代表馬にも選出されたリスグラシュー。それだけの良血ゆえ、母の繁殖牝馬としての期待値も高く、初仔の現役馬ラレーヌデリスも2勝を挙げています。そして、父に一流サイアーへの道を着実に歩んでいるリオンディーズを迎え、誕生した第3仔の牝駒が本馬となります。力強い首差し、胸筋がよく発達している胸前、腰にかけてのラインが綺麗でゆったりとした背中、容積が大きく力みなぎるトモ、厚みと深みがある胴、繋ぎに余裕がある前肢、飛節の可動域が大きい後肢というパーツからなる馬体は、特筆すべきバランスの良さです。身のこなしはパワフルですが、手先が軽く、スムーズで伸びやかな歩きを見せている点も、有力なセールスポイントです。2歳秋の芝中距離戦がデビューの舞台となりそうですが、成長力があり、長期間にわたり、胸躍らせる活躍が展開できる資質を有しています。

林徹調教師コメント

全体的なサイズも十分あり、背中を使い方もしっかりしていて、歩様からは機敏さが伝わってきます。バランスの取れた感じは怪我の心配がなさそうで、馬体のシルエットも好みのタイプです。リオンディーズ産駒は相性が良く、アナザーリリックで重賞も勝たせて頂き、私自身も能力を引き出せるイメージを持っています。本馬もアナザーリリックに雰囲気などがどことなく似ているように思います。父の産駒は距離の融通も利きますので、幅広いレンジに対応できるのではないのでしょうか。女傑リスグラシューを輩出している母系ですから、あらゆる可能性の大きさも感じます。調教師として「馬は手をかければ助けてくれる」ということを信念に、一頭毎に違う性格などを見極め、丁寧に適切な対応を実践しています。もちろん本馬にも手をかけ、出走する限りは勝てる状態でレースに挑みたいと思います。

キングマンボ	Mr. Prospector
キングカメハメハ	Kingmambo
King Kamehameha	Miesque
鹿 2001	*ラストタイクーン
リオンディーズ	Manfath
Leontes	Pilot Bird
黒鹿 2013	*サンデーサイレンス
シーザリオ	スペシャルウィーク
Cesario	Special Week
青 2002	キャンペンガール
	*キロフプリミエール
	Sadler's Wells
	Kirov Premiere
	Querida
	*サンデーサイレンス
	Halo
	Sunday Silence
	Wishing Well
ダイワメジャー	
Daiwa Major	
栗 2001	*ノーザンテスト
	スカーレットブーケ
レイリオンの	Scarlet Bouquet
Leirion	*スカーレットインク
鹿 2013	
	アメリカンポスト
	Bering
	American Post
	Wells Fargo
*リリサイド	
Liliside	
鹿 2007	*ミラズメイト
	ミラズリリー
	Miller's Lily
	Lymara

サンデーサイレンス:M3×S4 Sadler's Wells:S4×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

林徹調教師(美浦)

◆1979年4月4日生 ◆2018年開業(7年目) ◆JRA通算124勝 ◆JRA重賞8勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- ソングライン:安田記念(G1)2回、ヴィクトリアマイル(G1)
- パライバトルマリン:関東オークス(Jpn2)
- クレッシュエンドラヴ:七夕賞(G3)
- アナザーリリック:福島牝馬S(G3)
- ミアネーロ:フラワーC(G3)
- ロバートソクキー:オールカマーC(G2)2着
- バトルボーン:白富土S(L)2着
- ラズベリームース:アネモネS(L)2着
- ウイリン:紅梅S(L)3着
- クイーンオブソウル:アネモネS(L)3着



ファミリー(母系)

母の父 **ダイワメジャー**は千歳産、最優秀短距離馬(2回)、9勝、天皇賞(秋)-JPN1、2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:レーヌミノル(桜花賞-G1)、アドマイヤマーズ(香港マイル-G1)。【BMS:主な産駒】ナミュール(マイルチャンピオンシップ-G1)、ショウナンナデシコ(かしわ記念-JPN1)、モリアーナ(紫苑S-G2)、グランブリッジ(エンブレス杯-JPN2)、ラヴェル(アルテミスS-G3)

母 **レイリオンの**(13ダイワメジャー)2勝。産駒
ラレーヌデリス(20牝鹿 エピファネイア)2勝、[Ⓜ]
祖母 ***リリサイド** Liliside(07 American Post)仏国産、仏5勝、Prix de la Californie-L、Prix La Camargo-L、Prix de La Cochere-L。産駒

リスグラシュー(牝 ハーツクライ)年度代表馬、最優秀古牝馬(2回)、6勝、有馬記念-G1、宝塚記念-G1、エリザベス女王杯-G1、東京新聞杯-G3、アルテミスS-G3、桜花賞-G1 2着、秋華賞-G1 2着、ヴィクトリアマイル-G1 2着、阪神ジュベナイルフィリーズ-G1 2着、金鯱賞-G2 2着、府中牝馬S-G2 2着、阪神牝馬S-G2 3着、ローズS-G2 3着、チューリップ賞-G3 3着、オークス-G1 5着、豪1勝、MVR C W.S.コックスプレート-G1、香港入着、香港ヴァーズ-G1 2着、香港クイーン エリザベス二世C-G1 3着

ブルメリアスター(牝 ゼンノプロイ)3勝、豊川特別。産駒
ココクレーター(牝 エピファネイア)3勝、フラワーC-G3 5着、[Ⓜ]
ジオセントリック(牡 *ハービンジャー)1勝、[Ⓜ]

アラスカ(牝 オルフェーヴル)3勝、支笏湖特別、北辰特別
サトノコメット(牝 ダイワメジャー)兵庫(公)入着、中央入着

曾祖母 **ミラズリリー** Miller's Lily(88 *ミラズメイト)仏2勝。産駒
***リリアメリカ** Lily America:仏3勝、Prix La Camargo-L

ザワイス レイディ The Wise Lady:仏3勝、ミエスク賞-G3 2着、カルヴァドス賞-G3 3着、リゾランジ賞-G3 3着。**ミン ジー コスモス** Ming Zhi Cosmos(セルジオ クマニ賞-G3)、**メロディーマン** Melodyman(Prix Zeddaan-L)、**グッバイ マイ フレンド** Good Bye My Friend(Prix Herod-L 3着)の母、**ロビン オブ ナヴァン** Robin of Navan(クリテリウムド サンクルー-G1)の祖母
ゴールデン リリー Golden Lily:仏1勝。***リリーズキャンドル** Lily's Candle(マルセル プサック賞-G1)の母

配合診断

牝馬の輝かしい活躍が目立つ血統構成に自信、有効で巧妙なクロスに桜路線のスピード感

母レイリオンは現役時代に芝2勝。その半妹に年度代表馬リスグラシューがいる良血です。初仔ラレーヌデリスは現2勝馬で、その父エピファネイアは本馬の父リオンディーズの半兄。したがって、本馬とラレーヌデリスは3/4同血です。同じリリサイド牝系に属するエピファネイア産駒には、フラワーC(G3)5着馬で現在3勝クラスで活躍中のココクレーターがいます。「母の父ダイワメジャー」は、ナミュール、グランブリッジ、モリアーナ、キミワクイーンなど、牝馬の活躍が目立ちます。これは強調材料でしょう。本馬はサンデーサイレンス4×3、Sadler's Wells=Nureyev 4・5×5をはじめ、父母双方が似たような血統構成になっており、配合的に注目できます。完成は早めで、2歳戦から芝マイルでスピードを発揮するでしょう。桜花賞戦線での活躍を期待したい一頭です。